

令和元年6月期 ディスクロージャー誌 【半期開示】

経営方針

J A 千葉みらいの組合理念

私たちは「ふれあいと幸せ」を大切に未来を創造し豊かな緑と都市との調和に貢献します。

J A 千葉みらいの組合方針

1. 都市農業の特性を活かした農業振興を図るとともに、農家所得の向上に努めます。
2. 農と住の調和を大切に、住みよい地域づくりを目指します。
3. 組合員と地域住民に親しまれ、信頼される健全な経営に努めます。
4. ゆとりと安らぎのある生活文化活動に取り組みます。
5. 地域のニーズに対応した、きめ細かなサービスを提供します。

J A 千葉みらいの行動規範

1. いつも明るい笑顔で接します。
2. 幸せづくりのパートナーとして貢献します。
3. 正確・迅速・ていねいな対応をします。
4. 常に向上心を持ちチャレンジします。
5. 自らの行動に責任を持ちます。

I 地域貢献に関する取組み

○全般に関する事項

当組合は、千葉市・習志野市・佐倉市・八街市・四街道市を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助を共通の理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

当組合の資金は、その大半が組合員の皆様などからお預かりした、大切な財産である「貯金」を源泉としております。当組合では、資金を必要とする組合員の皆様方や、地方公共団体などにもご利用いただいております。

当組合は、地域の一員として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて、事業活動を展開しております。

また、JAの総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組合として、農業や助け合いを通じた社会貢献に努めています。

	組合員数（人）	出資金額（千円）
合計	25,281	2,348,387
うち正組合員	11,477	1,909,539
うち准組合員	13,804	438,848

1. 地域からの資金調達状況

(1) 貯金積金残高 (単位：千円)

貯金種別	令和元年6月末	平成30年12月末	増減
貯金残高	265,446,850	270,799,672	△ 5,352,822
うち定期積金	3,376,528	3,723,369	△ 346,841
譲渡性貯金	100,000	100,000	0
合計	265,546,850	270,899,672	△ 5,352,822

(2) 貯金商品

- ・当座貯金、普通貯金、貯蓄貯金、通知貯金、定期貯金
定期積金、譲渡性貯金等

その他に農産物を懸賞品とした全国統一定期貯金「大地の輪」や、お客様のニーズにあったJA千葉みらい独自のキャンペーンを展開しております。

尚、リスクの低い個人向け国債の販売も取り扱っております。

2. 地域への資金供給の状況

(1) 貸出金残高の内訳

(単位：千円)

種 類	令和元年6月末	平成30年12月末
組合員等貸付金	51,850,103	47,978,231
地方公共団体等貸付	14,586,198	14,941,251
金融機関貸付	1,272,000	2,545,000
その他法人貸付	694,413	1,124,004
合 計	68,402,716	66,588,487

(2) 農業関係資金残高の内訳

(単位：千円)

種 類	令和元年6月末	平成30年12月末
農業近代化資金	53,530	54,300
その他制度資金	53,764	52,945
農林公庫資金	24,000	25,200
その他農業関係資金	1,116,819	1,107,974
合 計	1,248,114	1,240,419

(3) 融資商品

・農業関連資金

地域農業をリードする農家の育成に必要な資金を低利で融資し、農業生産の拡大と農家所得の増大を図ることを目的に、農業融資（JA農機ハウスローン・アグリマイティーフ資金）に対するJAバンク利子補給を行っております。更に、行政との連携による利子補給制度を活用した農業近代化資金や、日本政策金融公庫資金の取り扱いを通じて、担い手農業者のサポートをしています。

・資産有効利用資金（賃貸住宅資金）

・生活資金・・・住宅、教育、車等生活資金、カードローン等

地域の皆様に安心してご利用頂ける各種ローンを取り揃えております。

3. 文化的・社会的貢献に関する事項

(1) 文化的・社会的貢献に関する事項として、次の項目等に取り組んでおります。

- ・学校給食への地元安心農産物、お米の提供
- ・各種農業関連イベントへの参加
- ・年金相談会・税務相談会の開催や、弁護士による法律相談の実施
- ・市内小学校への食育教室の実施
- ・農業の体験学習の開催（田植え、野菜の収穫等）

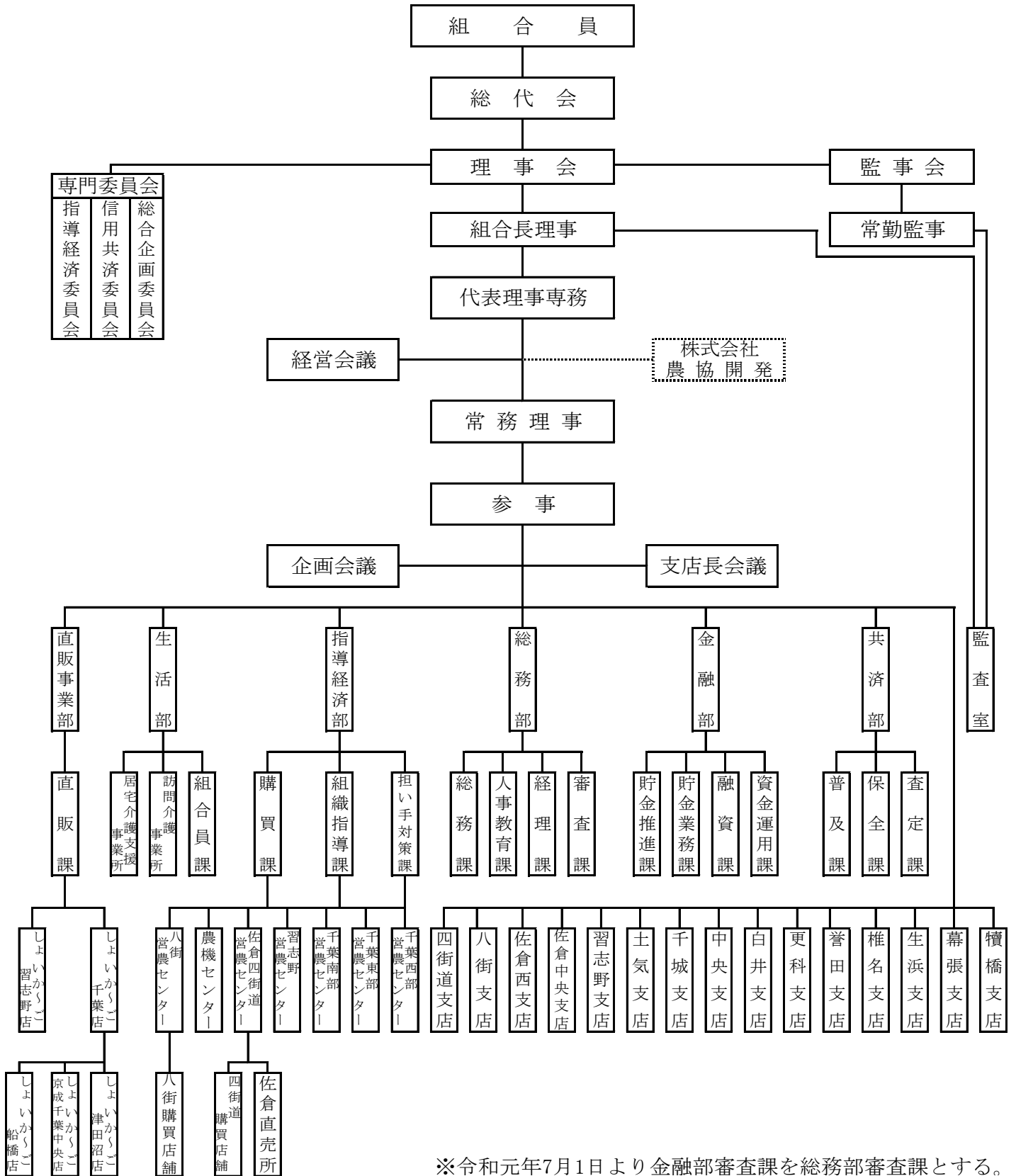
(2) 利用者ネットワーク化への取り組み（構成員数は平成30年12月末現在）

- ・年金友の会連合会組織による親睦旅行を始め、地域ごとのゲートボール大会や健康セミナーを開催し、会員の親睦、健康増進活動をすすめております。
(構成員数 6,070名)
- ・資産管理組合による資産有効利用に関する勉強会や税金等の勉強会を始め、視察旅行等、親睦の輪を広げております。
(構成員数 239名)
- ・共済億友会による親睦旅行を始め、グランドゴルフ大会や観劇を通じて組織の親睦をはかっております。
(構成員数 693名)
- ・農業者の資質の向上を目指し、農協・青年部が主体となって、各関係団体の協賛を得て、外部講師を招いて農業者セミナーを開催しております。

(3) 情報提供活動

- ・組合員だよりとして、広報誌「みらい」を毎月発行しています。
- ・フェイスブックの開設や、ホームページの更新を常に行い、JA事業を広くPRしています。また、本年度より自己改革の一環として、利便性の向上に資することを目的に、メール配信サービスを開始しました。
- ・JAの活動や事業を理解していただけるように、日本農業新聞に記事を掲載しています。

(4) 店舗体制 (組織体制)



※令和元年7月1日より金融部審査課を総務部審査課とする。

II 財務状況や事業に関する開示項目

1 金融再生法開示債権(単体)

(単位：百万円)

債権区分	令和元年6月末	平成30年12月末	増減
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	125	104	21
危険債権	94	109	△ 15
要管理債券	-	-	-
正常債権	68,239	66,450	1,789
合計	68,459	66,664	1,795

<注記>

注1) 債権額は、貸出金・信用未収利息（信用事業与信元金に係るもののみ）・信用仮払金等、信用事業与信額（要管理債権は貸出金のみ）を対象として開示しています。なお、各債権の定義は以下の通りです。

① 破産更正債権およびこれらに準ずる債権

破産、会社更生、民事再生等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権です。

② 危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取ができない可能性が高い債権です。

③ 要管理債権

3ヶ月以上延滞債権（①および②に該当する債権を除く）および貸出条件緩和債権（①および②に該当する債権や3ヶ月以上延滞債権を除く）です。

④ 正常債権

債務者の財政状態および経営成績に特に問題が無いものとして、①から③に掲げる債権以外のものに区分される債権です。

注2) なお、令和元年6月末の計数は、次の方法により算出しています。

- 各債権区分額は、平成30年12月末時点の債権額を基準として、令和元年6月末時点の残高に修正しています。
- 平成30年12月末から令和元年6月末までの間に、債務者区分の変更が必要と認識した先については、6月末時点の債務者の状況に基づき債権区分を変更しています。

2 単体自己資本比率(国内基準適用)

令和元年6月末	平成30年12月末
11.74%	11.70%

<注記>

- 6月末の自己資本比率は、上半期決算結果に基づき算出しています。なお、減損損失は令和元年6月末の概算値により計上額は無しとなっております。
- 農協法第11条の2第1項第1号の規定に基づく組合の経営の健全性を判断するための基準に係わる算式に基づき算出しており、新基準（バーゼルⅢ）に基づく自己資本比率を記載しています。

3 主要勘定の状況

(単位：百万円)

	令和元年6月末	平成30年12月末	平成30年6月末
貯 金	265,546	270,899	250,692
貸 出 金	68,402	66,588	66,835
預 け 金	194,531	200,701	181,954
有 価 証 券	1,055	1,714	-

4 有価証券等時価情報

【有価証券】

(単位：百万円)

種 類	令和元年6月末			平成30年12月末		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
売 買 目 的	-	-	-	-	-	-
満 期 保 有 目 的	-	-	-	-	-	-
そ の 他	992	1,055	63	1,679	1,714	34
合 計	992	1,055	63	1,679	1,714	34

<注記>

- 1 6月末の有価証券の時価は6月末日における市場価格等に基づく時価としています。
- 2 取得価額は償却原価法適用前、減損処理前のものです。